

登別市立若草小学校だより



若草

令和3年
6月30日
第4号

学校教育目標

- たくましい子 (徳)
- 考える子 (知)
- 健康な子 (体)

根を伸ばし やがて大きな花が咲くことを信じて

校長 大熊 龍也

緊急事態宣言が解除されましたが、まだまだ心配な感染状況が続いており、教育活動は、感染対策を十分とりながら少しずつ慎重に進めているところです。そんな折、心と目をやると、1年生が一生懸命育てているあさがおや2年生が心を入れて育てているミニトマトがすっかり大きな葉をつけてきました。また、ふれあい農園のじゃがいもも花をつけました。植物の、生命のつ力強さを感じさせられます。

□限られた中でも成長する子どもたち

緊急事態宣言の発令中は、教育活動に制限があり、いろいろな行事の取組の中で育む力を身に付けさせる機会を失いました。それでも、「できること」に目を向け取り組ませることで、学級内で育むことができる力を身に付けさせようと指導してきました。その結果、子どもたちは着実に成長しています。例えば3年生は国語科の授業で、説明的文章の大切なことばをしっかりとらえる力が伸びています。4年生は、取材した相手に感謝の気持ちを込めて、手紙を書くことができました。5年生は、授業はもちろん家庭学習の質も高くなっています。そして、6年生は、授業中のまなざしが違います。そして、クロムブックを駆使して学習を進める姿は、若草小のリーダーです。その他、どの学級を回っても、授業中、学習の約束が守られ、落ち着きながらも生き生きと学んでいる姿が目立ちます。行事等に取り組めなかった分、学級で過ごす中で、確実に成長しているのです。

□「何も咲かない寒い日は下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」

このことばは、シドニーオリンピックマラソン金メダリストの高橋尚子さんが、高校時代の監督から贈られたもので、元三洋電機副社長 後藤清一氏のことばです。高橋尚子さんは、競技人生において苦しいときの原動力となったと述べています。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、いろいろな制限がある今の状況を「何も咲かない寒い日」と考えると、こうしたときにこそ足元を見つめ、しっかり根を張るように、伸ばすようにする・・・つまり学習の基礎的な部分をしっかりと身に付けさせることが今できることであり、そのことが今後の行事等でも力を発揮する「花を咲かせる」ことにつながると思うのです。

本校では、今年度から通知表を2期制としました。3期制の場合、どうしても学期末の学習が駆け足となりがちでじっくりと取り組ませることが難しい、学期末までじっくりじっくり学ばせたいと考えたからです。慌ただしさの中で、子どもたち一人一人に目が行き届かないことがないようにしたいと考えたからです。とりわけ、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、子どもたちの心に大きな影響を与えていると想像できます。そんな子どもたちの気になる部分を見逃さないよう、しっかり見守り、寄り添っていきたく考えています。

今年度の1学期の終わりの、しっかりと「根を伸ばす」ことに重点を置き、じっくり確実に学習の力を身に付けさせることで、子どもたちに力強さと自信を備えさせ、2学期や1年間の最後には、大きな「花」を咲かせることを目指していきます。

6年生制作のこけしが展示されます 展示期間7月1日(木)~9日(金)

毎年、宮城県白石市が「全日本こけしコンクール」を開催しており、白石市における最大のもので、5月1日~3日の3日間、盛大に開催される予定でした。白石市との姉妹都市交流事業として、本校で「こけしの絵付け」を6年生が5年生の時に行いました。残念なことに「全日本こけしコンクール」が昨年度同様、中止になったことで、出品の予定も見送りとなりました。せっかく、子どもたちが「絵付け」した作品ですので、登別市民会館「エントランスホール」において上記の期間で展示することになりました。

お時間の都合がつく方はぜひご覧いただきたく思います。

~「クロムブック持ち帰り」ご協力ありがとうございました~

2回にわたり実施し、保護者の皆様よりご協力、ご支援等をいただき、成果や課題等も明らかになってきました。今後多くの学習活動等に役立つよう改善を加えながら、クロムブックの利活用を図っていきたく思います。

6年生縄文学習

6月8日(火)、緊急事態宣言を踏まえた上で、本校の多目的教室で登別市教育委員会学芸員の菅野修広さんを講師として、6年1組が2校時目、同2組が3校時目に縄文出前講座を実施しました。本講座では、縄文人の特徴や暮らしについての説明のあと、弓矢や土器などの実物を実際に触らせていただきました。「石やりがすごい。」「伊達(北黄金)の貝塚へ行ってみたい。」「縄文時代のことをもっと知りたい。」などの好奇心をかき立てられた子どもたちの感想が聞かれました。次の学習につながることを期待しています。



新型コロナウイルス感染症予防のため中止となった学習活動など

感染症対策を講じても密を避けられない等の実施が難しいと登別市で判断され、中止となった校外学習や外部講師を招いて行う以下の学習活動があります。

○温泉入浴体験(3年生対象)

○邦楽鑑賞会(6年生対象)

とても残念なことですが、他の学習を充実させることで、子どもたちに学ぶ楽しさを感じてもらえるよう教育活動を工夫していきたいと思っております。

緊急事態宣言発出に伴う学校行事の時季変更により、登別市立図書館の事業に取り組む時間及び作品審査の日程確保が難しい等の理由から、今年度の「小学生の読書感想画コンクール」「小・中学生の読書感想文コンクール」が中止となりました。日常的に読書に親しみ、感じたことを様々な表現方法で伝えることなどは、学校の教育活動において充実させていきたいと思っております。

今年度も七夕を自粛

7月7日は子ども達が楽しみにしている「七夕」の日ですが、新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から、子どもたちには「七夕」の地域まわりを自粛するよう呼びかける予定です。

子どもたちの気持ちを考えると、何とか例年のように思うのですが、地域の方々の様々な事情を考慮し、今年度も自粛することが適切だと判断しました。

ご理解とご協力をお願いします。

～6月4日付の北海道教育委員会よりの配布文書より～確認のため、再度ご連絡します。子ども本人がPCR検査または抗原検査を受けることになった場合は結果(陰性)が出るまでは「出席停止」となります。また、ご家族が同様のケースだった場合は学校へご相談ください。(民間検査や保険適用外の検査は対象外となります。)

あいさつを大切に～あいさつ運動～

6月の上半旬に生活委員が玄関前で「挨拶運動」を実施しました。緊急事態宣言が延長になった状況ではありますが、あいさつを元気よく交わして、楽しく学校生活を送ろうと考え、活動をしていました。

良好な人間関係を構築するためには、あいさつがとても大切だということ子どもたちの姿から改めて学んだ気がしました。



7月の主な行事予定

7月	2日(金)	全校朝会
	5日(月)	6時間授業(4～6年) ※うんどう広場(18:15～20:00)
	6日(火)	食育授業(4年 カルビー)
	7日(水)	こぐま号(1・3・5年)
	10日(土)	土曜授業① 3時間授業
	12日(月)	5時間授業(4～6年)
	13日(火)	修学旅行説明会(6年生保護者対象)
	15日(木)	食育授業(3年 ヤクルト)
	16日(金)	租税教室(6年)
	19日(月)	6時間授業(4～6年) ※うんどう広場(18:15～20:00)
	21日(水)	1学期終業式 A日課4時間授業 給食なし こぐま号(2・4・6年)
	22日(木)	海の日
	23日(金)	スポーツの日

※委員会活動、クラブ活動は、異学年交流等を配慮し、念のため、今学期の実施は見合わせることにしました。
※夏休みは7月22日～8月16日の26日間です。
※2学期始業式は8月17日(火)です。

PTA 活動は2学期からスタート

6月17日に行う予定だったPTA役員会を24日(木)に延期し、今年度のPTA活動及び50周年行事等について話し合いました。

1学期は感染状況及びワクチン接種が落ち着いたと言える状況ではないので、PTA活動は2学期よりスタートすることにしました。PTAスタッフについては第1希望を重視し、割り振ることにしました。

スタッフ一覧については近日中に配布いたします。